

---

# 神のうた

宇治宮王子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神のうた

### 【Nコード】

N5742P

### 【作者名】

宇治宮王子

### 【あらすじ】

神のうたはこの世に生かされた人間にどのような影響を与えるのであろうか。

僕は神だ。

何でも創造できる。

りんごとバナナの味がするぶどうを創造してみようか。

いや、止めておこう。

それは危険すぎる。

奈良県の菌科で虫菌を治している鹿を創造してみようか。

いや、止めておこう。

それは危険すぎる。

ニューヨークのフランス料理店で北京ダックを食べる織田信長を創造してみようか。

いや、止めておこう。

それは危険すぎる。

世の中危険のことだらけ、私の存在はそれに含まれて葷と葷の間に溶ける。

割れた鏡の破片でリストカットする少女は神に祈らない。

それを見て自慰する少年は神を信じない。

矛盾した大地に落とされたわれわれ宇宙人は、その矛盾を知らない。  
哀れな宇宙人は、原曲の原曲が存在することを自慢げに語っている

がいい。

僕は神だ。

神のうたを口ずさむ。

晴れた世界は綿あめ生成器によって分解された。  
ぷつくぷくに膨れ上がった自称地球に重力を与えると非現実は失われる。

その危険を認識した物体Aはりんごとバナナとぶどうの道をそれぞれ歩みだす。

その危険を認識した物体Bはイルカとクジラに憧れた。  
その危険を認識した物体Cは物体Cのまま傍観している。

木星からきた自称神が僕に神のうたを教えた。

「踊るチンポコリン」

そして僕は神のうたを口ずさむ。

チンポコチンポコ 踊るチンポコリン ♪  
チンポコチンポコ 踊るチンポコリン ♪  
チンポコチンポコ 踊るチンポコリン ♪

みんな幸せ。

僕はタイムカードを押した。最後のタイムカードを押す手は震えていた。

こんなバイトやってられるか、フ●ック！！！

どうか 忘れないで ほしい  
神のうた で 幸せになった 人々の ことを

## （後書き）

ふと短編を書きたくなって投稿しました。よろしくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5742p/>

---

神のうた

2010年12月19日01時01分発行